

図書室より「新着図書」のお知らせ

『白鳥とコウモリ』 東野圭吾

幸せな日々は、もう手放さなければならない。
 遺体で発見された善良な弁護士。一人の男が殺害を自供し事件は
 解決——のはずだった。2017年東京、1984年愛知を繋ぐ、ある男の
 “告白”。その絶望——そして希望。
 私たちは、未知なる迷宮に引き込まれる——。

『ドキュメント』 湊かなえ

中学時代に陸上で夢を追い求めていた町田圭祐は、交通事故に遭い
 高校では放送部に入ること。三年生引退後、圭祐は同期の正也や
 久米さんたちとテレビドキュメント部門の題材として陸上部の活動を
 撮影していく。するとドローンの動画の中に、煙草を持って部室から
 出てくる親友・良太の姿が映りこんでしまう。圭祐が真実を探っていくと、
 計画を企てた意外な人物が明らかになって…。

『元彼の遺言状』 新川帆立

第19回

「このミステリーがすごい！」大賞受賞

「僕の全財産は、僕を殺した犯人に譲る」
 奇妙な遺言状を残して、大手製薬会社の御曹司・森川栄治が亡くなった。
 学生時代に彼と三ヶ月だけ交際していた弁護士の剣持麗子は、犯人候補に
 名乗り出た栄治の友人の代理人として、森川家主催の「犯人選考会」に
 参加することとなった。数百億円ともいわれる遺産の分け前を獲得すべく、
 麗子は、自らの依頼人を犯人に仕立て上げようと奔走する。他方で
 彼女は元カノの一人としても軽井沢の屋敷を譲り受けることになっていた。
 ところが、軽井沢を訪れて手続きを行ったその晩、くだんの遺書が保管
 されていた金庫が盗まれ、栄治の顧問弁護士であった町弁が何者かによ
 って殺害されてしまう…。

8月6日公開映画原作

『キネマの神様』 原田マハ

39歳独身の歩は、突然会社を辞めるが、折しも趣味は
 映画とギャンブルという父が倒れ、多額の借金が発覚した。
 ある日、父が雑誌「映友」に歩の文章を投稿したのを
 きっかけに歩は編集部採用され、ひょんなことから
 父の映画ブログをスタートさせることに…。
 この世に映画がある限り、人々は映画館へ
 でかけていこう。家族と、友人と、恋人と…。
 壊れかけた家族を映画が救う。感動の物語。

